

福島第一原子力発電所現地確認報告書

1 確認日

令和2年6月30日（火）

2 確認箇所

- ・ 1 / 2号機共用排気筒近傍
- ・ サブドレン他浄化設備

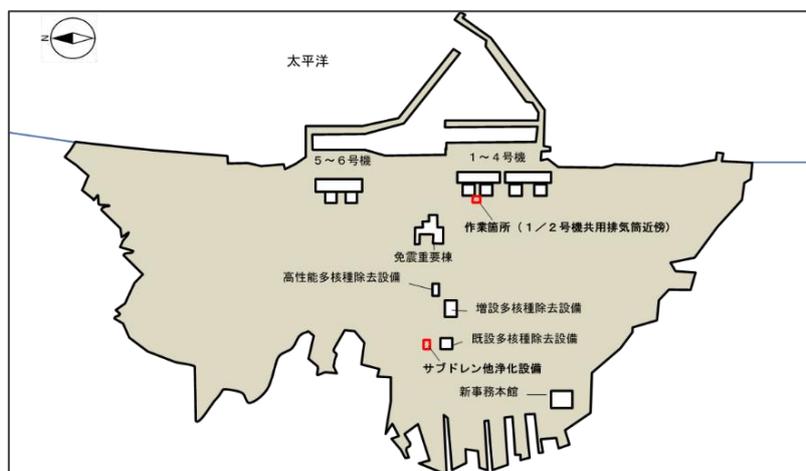
3 確認項目

- (1) 1 / 2号機共用排気筒ドレンサンプルピット内部調査の準備状況
- (2) サブドレン他浄化設備前処理フィルタ2Bからの漏えいの対応状況

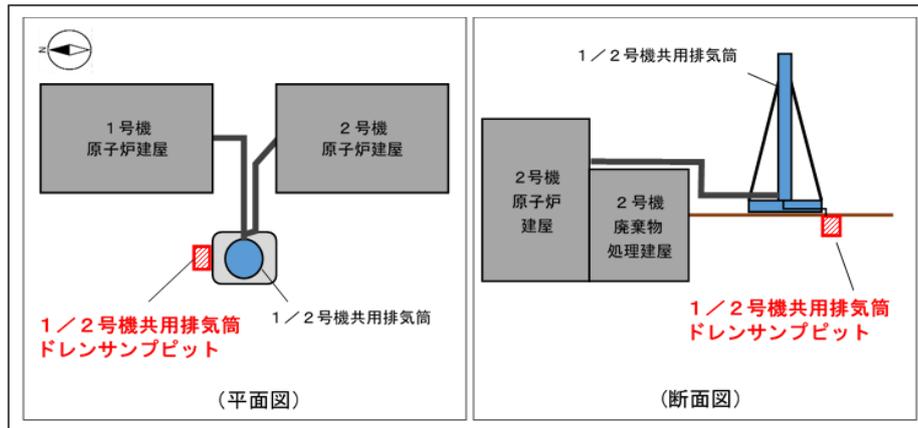
4 確認結果の概要

- (1) 1 / 2号機共用排気筒ドレンサンプルピット内部調査の準備状況について
1 / 2号機共用排気筒解体工事は排気筒（全体約120m）上部の約60mの解体が本年4月23日に完了し、5月1日に排気筒上部に蓋が設置された。蓋の設置により排気筒上部の開口の約99%が閉塞されたが、蓋設置後も降雨による1 / 2号機共用排気筒ドレンサンプルピット※¹（以下、「ピット」という。）の水位変動が確認された。そのため、排気筒上部以外からのピットへの流入経路を探るためのピット内部の調査が計画され、遮へい材取り付け作業等の準備作業が実施されたことから状況を確認した。（図1、2）
 - ・ 現場確認時、作業は行われていなかったが、ピット上部の雨養生カバー側面のアクリル板が取り外されており、遮蔽材も設置されていた。（写真1）

※1 排気筒ドレンサンプルピット：排気筒内に入り込んだ雨水や排気筒内で発生した結露水を貯めるための集水枿であり、大きさは約1m×約1m×深さ1mとなっている。



(図1) 福島第一原子力発電所構内概略図



(図2) 1 / 2号機共用排気筒ドレンサンプピット概略図



(写真1-1)

1 / 2号機共用排気筒周囲の状況



(写真1-2)

ピット周囲の状況

(2) サブドレン他浄化設備前処理フィルタ2Bからの漏えいの対応状況について

本年5月22日に発生したサブドレン他浄化設備B系の前処理フィルタ2Bからの漏えいの対応状況を確認した。(前回確認日：6月2日) (図1)

- ・現場確認時、前処理フィルタ2Bの上蓋及び内部構造物を取り外され、作業員が内部の詳細調査を行っていた。(写真2)
- ・東京電力によると、前処理フィルタ2Bについては局所的な腐食進展が7箇所確認されており、1箇所は前処理フィルタ容器(胴体)を貫通しているとのことであった。今後、前処理フィルタ2Bについては再発防止対策を講じた上で、容器を新規製作し、取り替えを行うとのことである。ま

た、同系統の前処理フィルタ 1 B、3 Bについては、一部に腐食が確認されているが、詳細を確認した後に補修または取り替えを計画するとのことである。なお、A系については異常は確認されていない。



(写真 2 - 1)
前処理フィルタ 2 B 周囲の状況



(写真 2 - 2)
前処理フィルタ 2 B 内部の状況

5 プラント関連パラメータ等確認

本日確認したデータについて、異常な値は確認されなかった。